

# かなざわ 7月号

平成28年6月30日

横浜市立金沢小学校

横浜市金沢区町屋町26-26

☎ 7 8 1 - 2 4 0 1

## 今年の夏のチャレンジは？

学校長 高木 篤子

まもなく夏休み。それぞれの計画を立てている頃でしょうか。

小学生の時、自分が夏休みの宿題の工作や自由研究に取り組んだことをなつかしく思い出しました。



1年生、遊びから帰ると手作りの紙粘土が用意されていました。「夏休みの工作を作るよ。」と母のリードのもと、きれいな花瓶が出来上がりました。こわれないように大事に学校へ持っていき、展示してもらいました。

2年生、自分で作りたくなりました。こっそり空き箱と綿とキャップを集め、折り紙をはってケーキを作りました。一人で作ったからあまり見栄えがよくなく、家でも学校でも誰も褒めてくれなかったと思います。それでも、自分の中で「一人でやったよ。」という満足感がありました。

高学年になると、自由研究に取り組みました。ことわざ調べ、気温や水温調べなどをしました。いちばん印象に残っているのは、切符に入っている鋏の形を調べたことです。今は自動改札で改札鋏を知らない人が多いでしょうが、当時は硬い切符に係の方がパチッと鋏を入れていました。その切符を見て、「どうして切符の鋏の形が違うのかな。」と思ったことがきっかけでした。

駅に行って聞いてみると、回収した多くの切符を見せてくれました。目の前に広がった様々な形の鋏が入った切符を今でも覚えています。業務用の本を手にしながらか丁寧な説明してくれた駅員さんに、小学生の私はきちんとお礼を言えたのか心配ですが、その優しさに感謝しています。

さて、この夏、子どもたちはどんなことにチャレンジするのでしょうか。親子でふれ合いながら作品を作るよさ、子どもの発想を生かして課題に取り組む価値、それぞれが自分に合ったもの考えることでしょう。夏休みにしか体験できないこと、新たな出会いもあるかもしれません。夏休み明けに登校するとき、「見て見て！これ作ったよ。」「調べてみて、おもしろかった。」「こんなことをがんばった。」と、一人一人のチャレンジを話してくれること、楽しみにしています。

◇ この原稿を書きながら、ふと思い出し、インターネットで「改札 鋏」と検索してみました。今では、すぐに説明や図や写真が出てきます。なつかしい切符の形を見ながら、やはり思い出すのは親切に教えてくれた駅員さんのことでした。